

1.3 川崎市の緑について

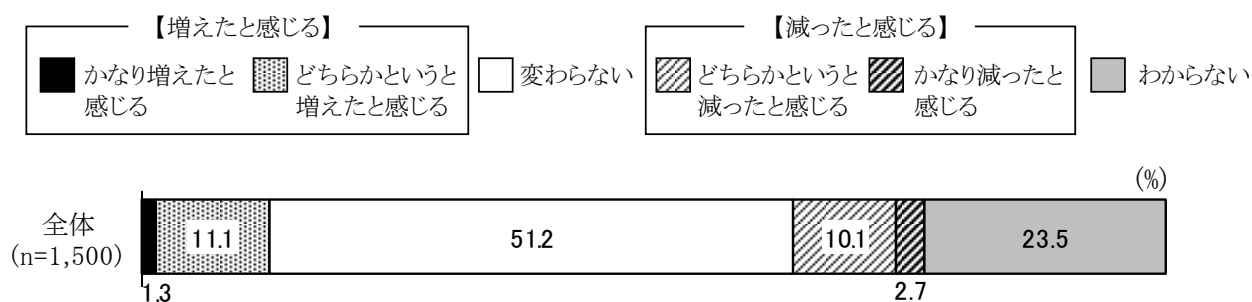
(1) 平成20(2008)年から現在までの川崎市の緑の変化

Q14. あなたは、平成20(2008)年から現在までの川崎市の緑の変化についてどのように感じていますか。

※平成20(2008)年は前・川崎市緑の基本計画が改定された年です。

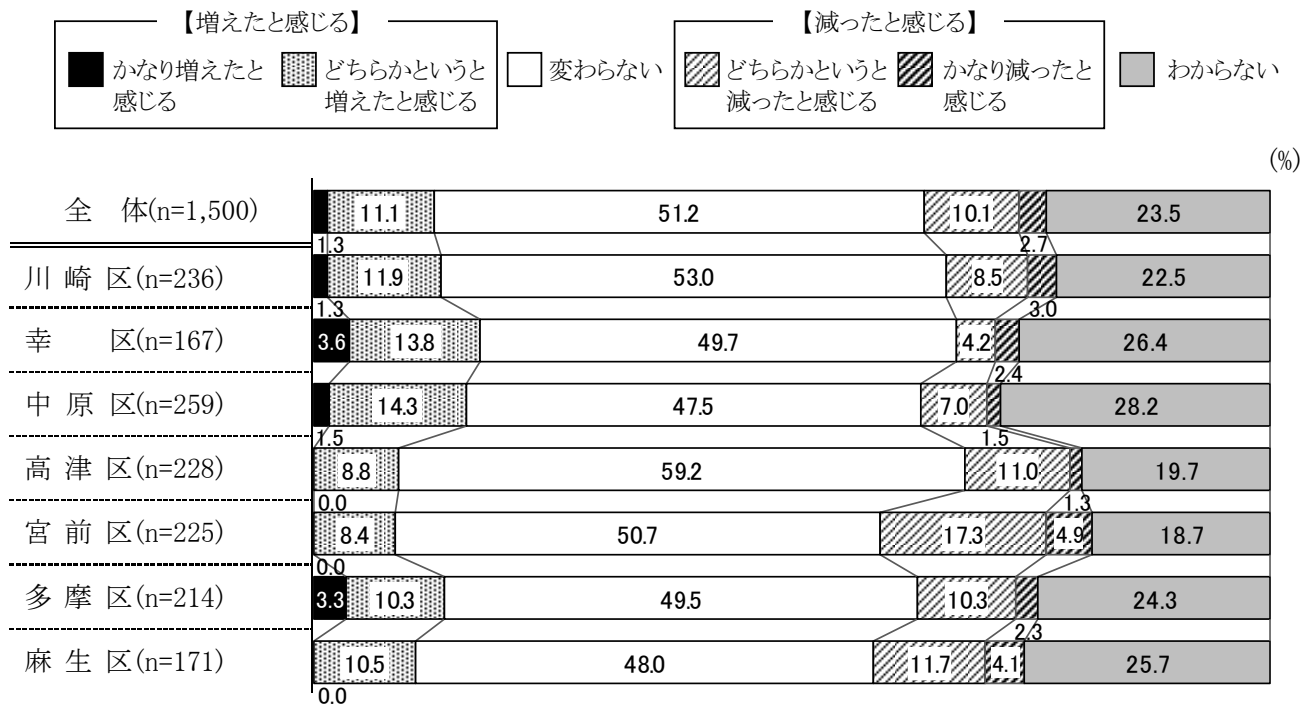
平成20(2008)年から現在までの川崎市の緑の変化については、51.2%が「変わらない」と回答している。「かなり増えたと感じる」と「どちらかというが増えたと感じる」を合計した【増えたと感じる】(12.4%)と「どちらかというが減ったと感じる」と「かなり減ったと感じる」を合計した【減ったと感じる】(12.8%)の割合はほぼ同程度であった。

【図表 46】平成20(2008)年から現在までの川崎市の緑の変化



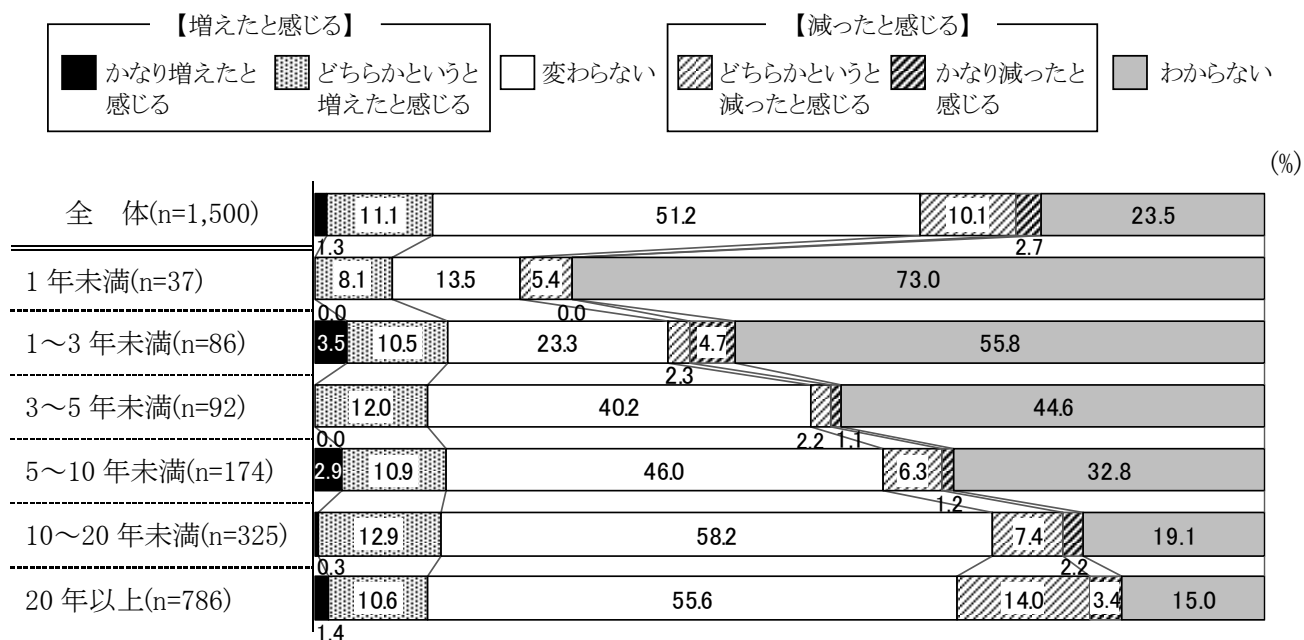
居住区別に見ると、「かなり増えたと感じる」と「どちらかというが増えたと感じる」を合計した【増えたと感じる】は幸区(17.4%)で最も多く、「どちらかというが減ったと感じる」と「かなり減ったと感じる」を合計した【減ったと感じる】は宮前区(22.2%)で最も多い。

【図表 47】平成20(2008)年から現在までの川崎市の緑の変化(居住区別)



居住年数別に見ると、「どちらかというが減ったと感じる」と「かなり減ったと感じる」を合計した【減ったと感じる】は「20年以上」の人で17.4%と最も多くなっている。また、概ね居住年数が長いほど「変わらない」が多い。

【図表 48】平成20(2008)年から現在までの川崎市の緑の変化(居住年数別)

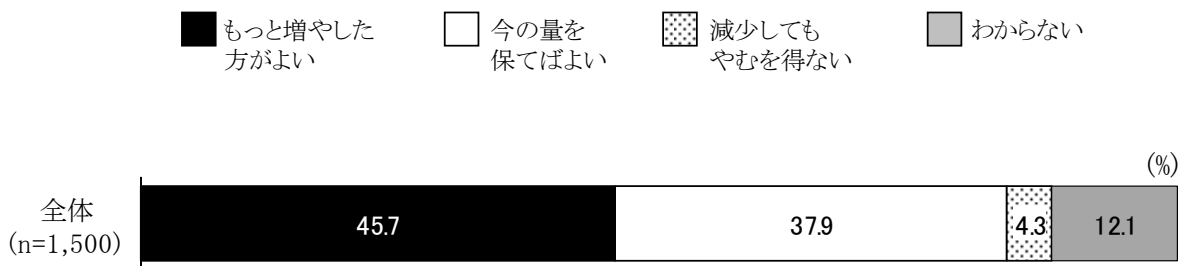


(2) これからの川崎市の緑について

Q15. あなたは、これからの川崎市の緑についてどのように考えますか。

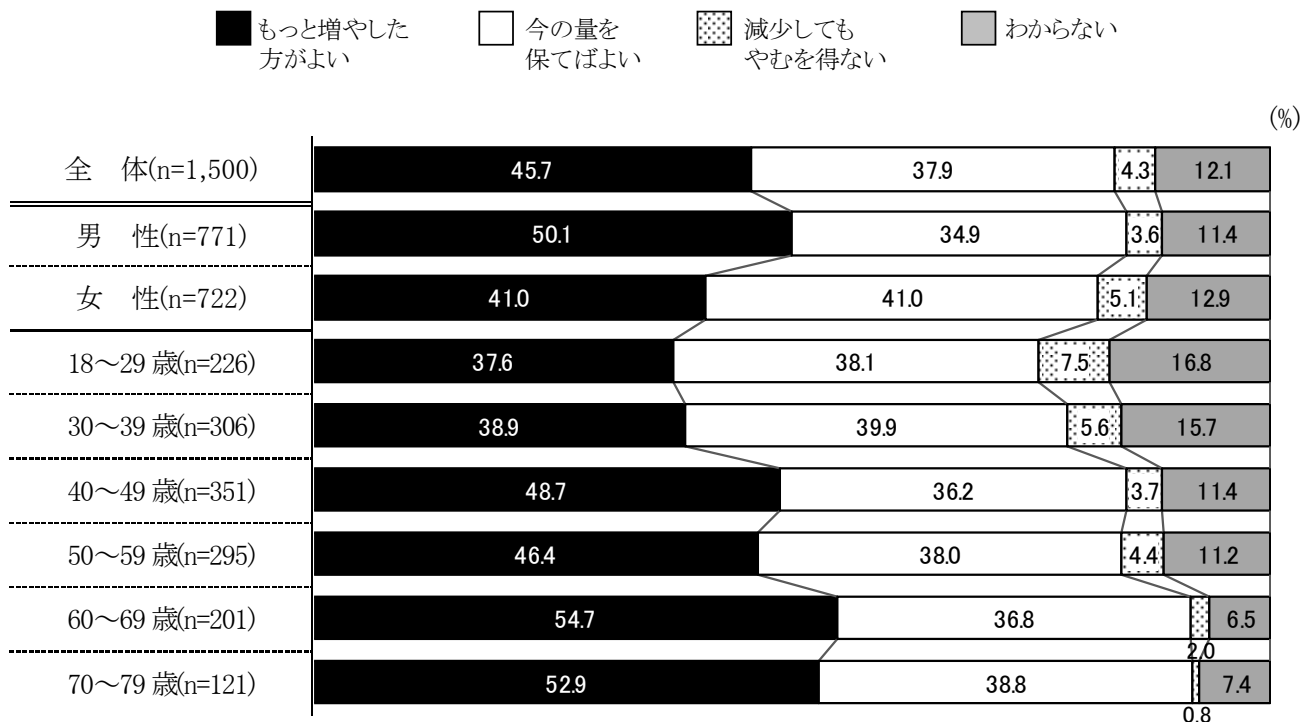
「もっと増やした方がよい」が45.7%と最も多く、次いで「今の量を保てばよい」(37.9%)、「減少してもやむを得ない」(4.3%)と続いている。

【図表 49】 これからの川崎市の緑について



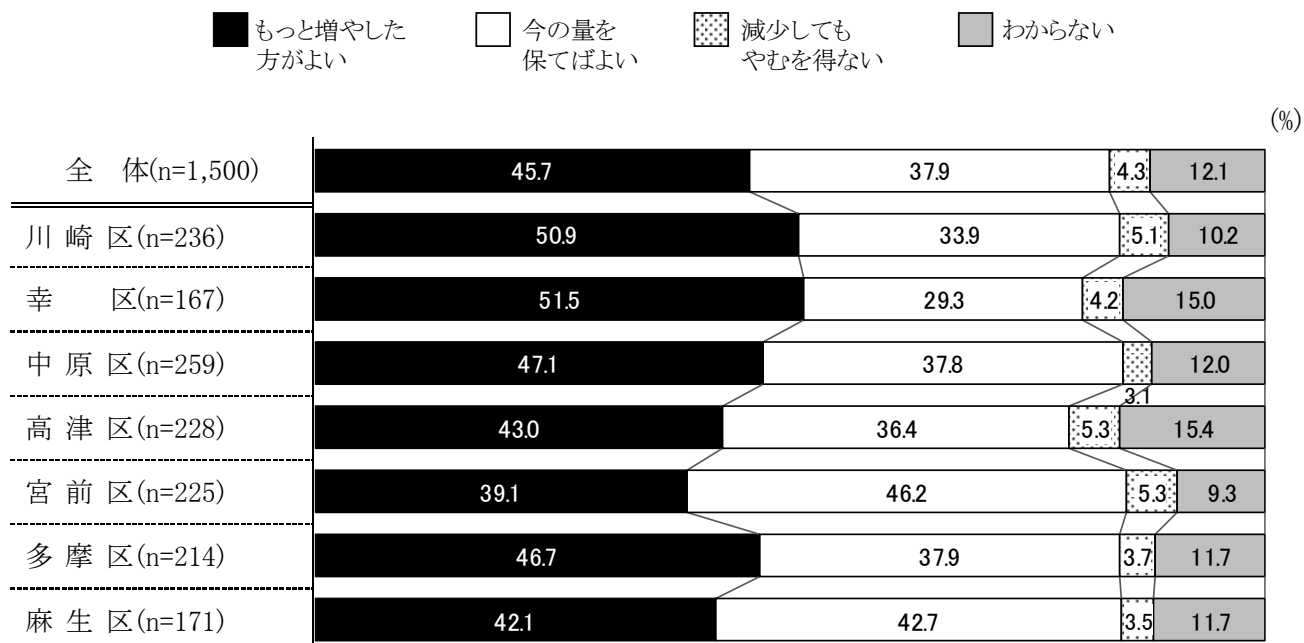
性別に見ると、「もっと増やした方がよい」は男性の方が女性よりも9.1ポイント高く、年齢別に見ると、「もっと増やした方がよい」は概ね年齢が高くなるほど多くなっている。

【図表 50】 これからの川崎市の緑について（性別・年齢別）



居住区別に見ると、川崎区と幸区では「もっと増やした方がよい」が5割を超えており、「今の量を保てばよい」は「宮前区」で46.2%と最も多い。

【図表 51】 これからの川崎市の緑について（居住区別）

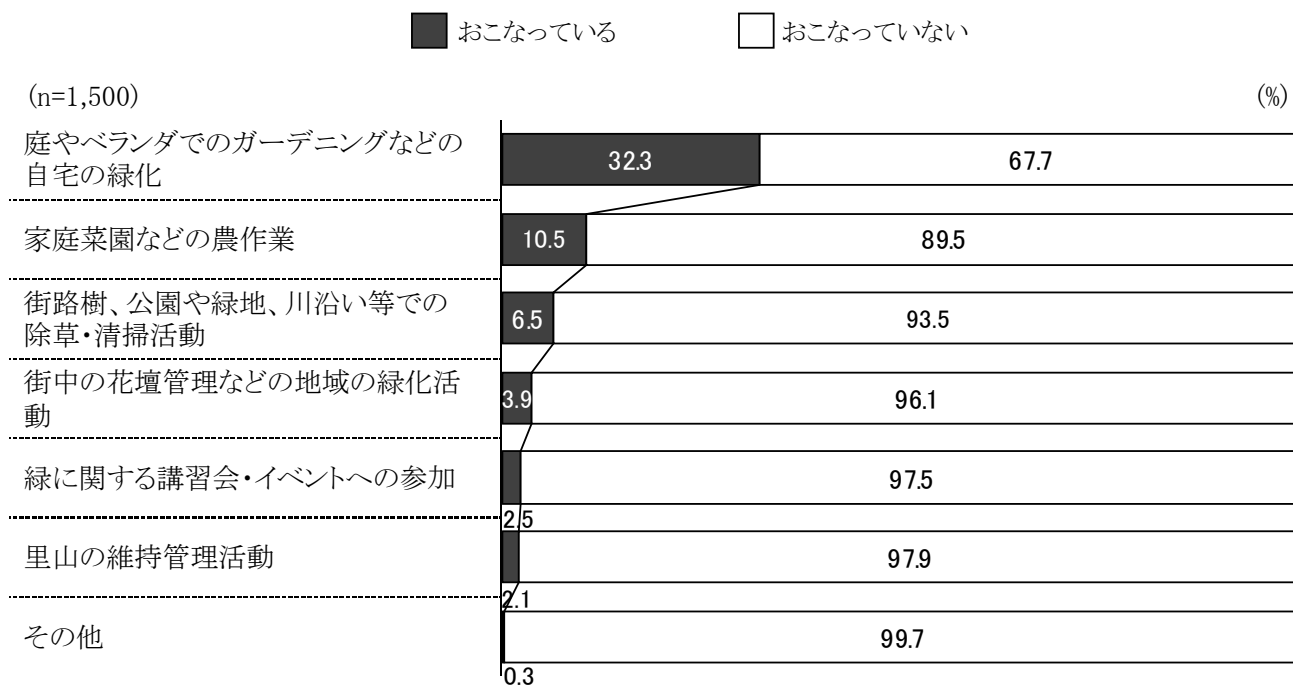


(3) 現在おこなっている川崎市の緑に関する活動

Q16. あなたは、現在、川崎市の緑に関して、次のことをおこなっていますか。

「おこなっている」の回答割合は「庭やベランダでのガーデニングなどの自宅の緑化」で32.3%、「家庭菜園などの農作業」で10.5%であったが、それ以外の項目では「おこなっていない」が9割を超えている。

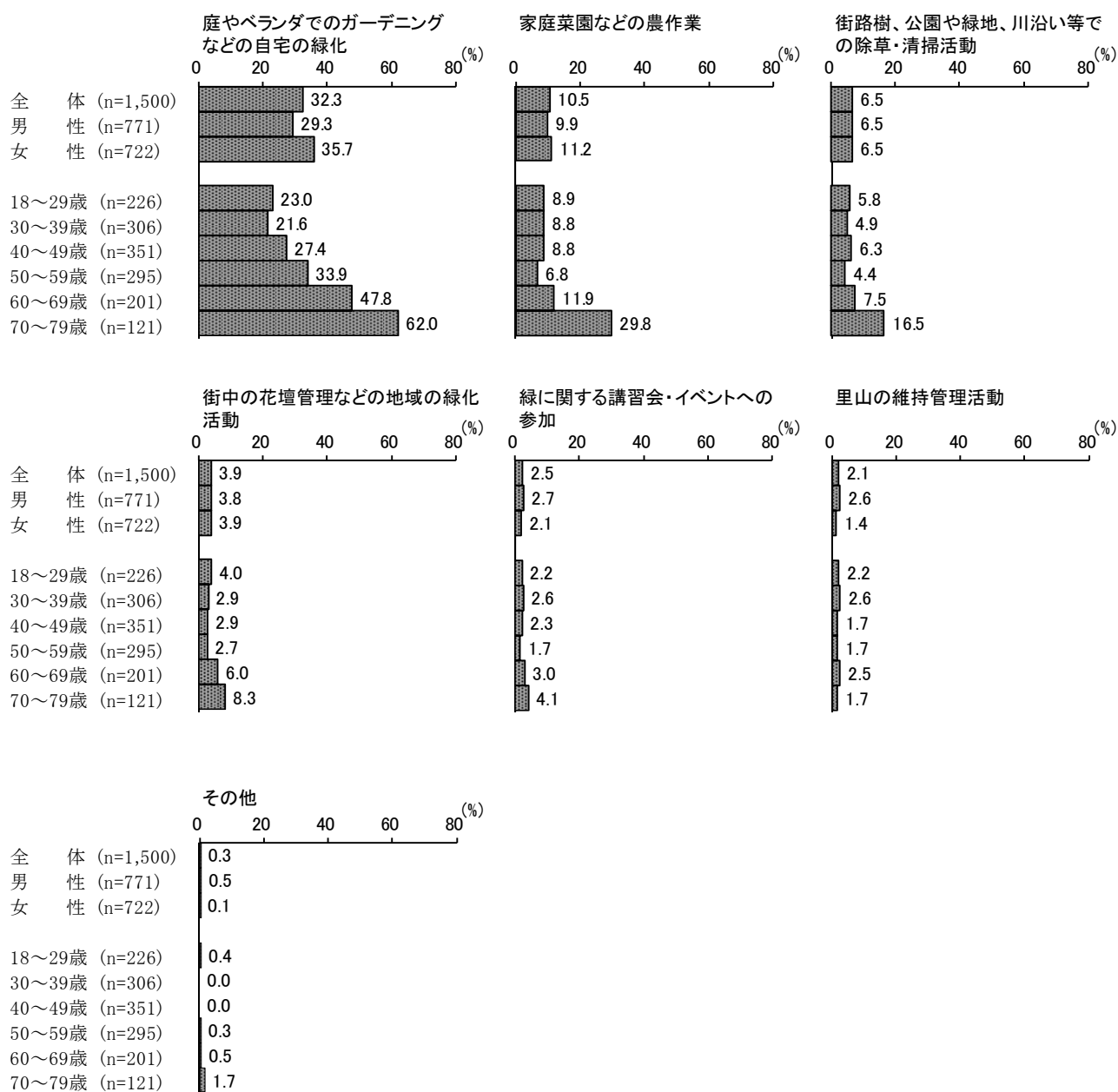
【図表 52】現在おこなっている川崎市の緑に関する活動



「おこなっている」と回答した人について性別に見ると、「庭やベランダでのガーデニングなどの自宅の緑化」では女性の方が6.4ポイント高くなっているが、他の項目では性別による大きな違いは見られない。

年齢別に見ると、「庭やベランダでのガーデニングなどの自宅の緑化」は概ね年齢が高くなるほど多くなっており、なかでも70～79歳では「おこなっている」が6割を超えている。また、「里山の維持管理活動」以外の項目で70～79歳が最も多くなっている。

【図表 53】 現在おこなっている川崎市の緑に関する活動（「おこなっている」回答者）
（性別・年齢別）

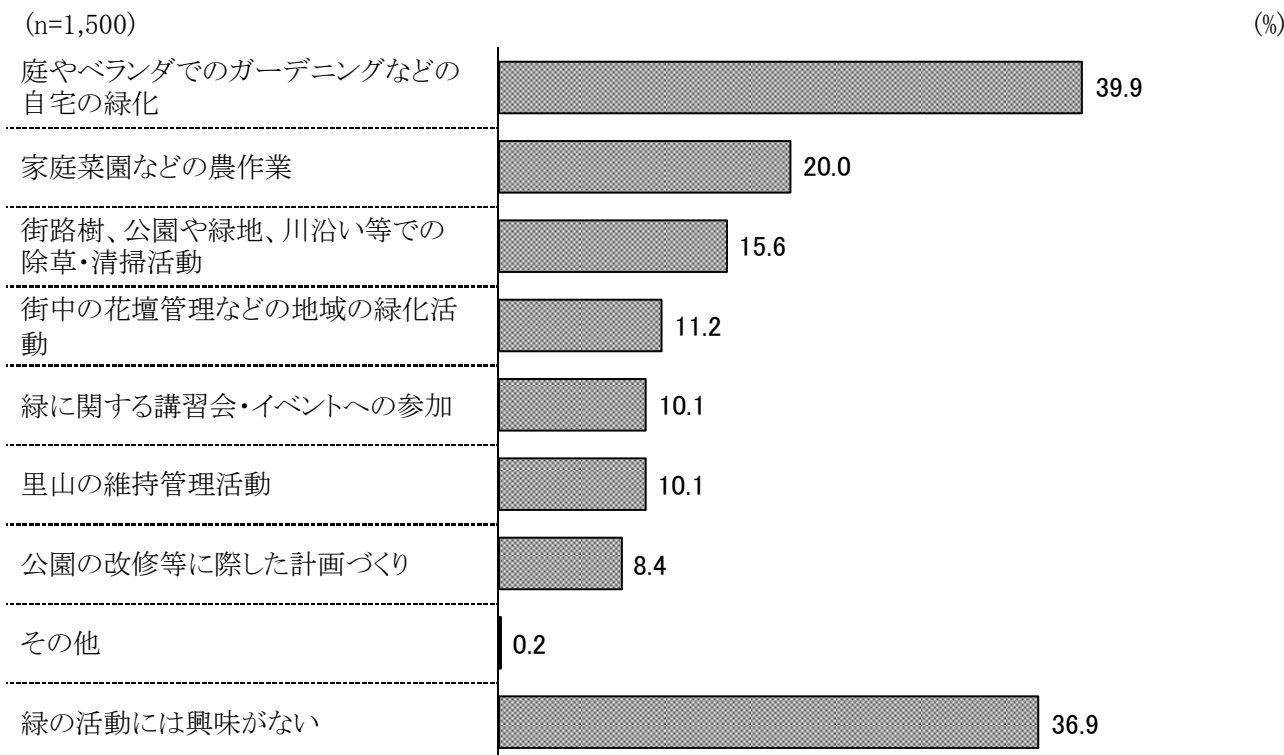


(4) 今後取り組んでみたい川崎市の緑に関する活動

Q17. あなたは、今後、川崎市の緑について、どのようなことに取り組んでみたいですか。してみたいと思う項目をすべて選んでください。

「庭やベランダでのガーデニングなどの自宅の緑化」が39.9%と最も多く、次いで「家庭菜園などの農作業」(20.0%)、「街路樹、公園や緑地、川沿い等での除草・清掃活動」(15.6%)と続いている。一方で、「緑の活動には興味がない」は36.9%であった。

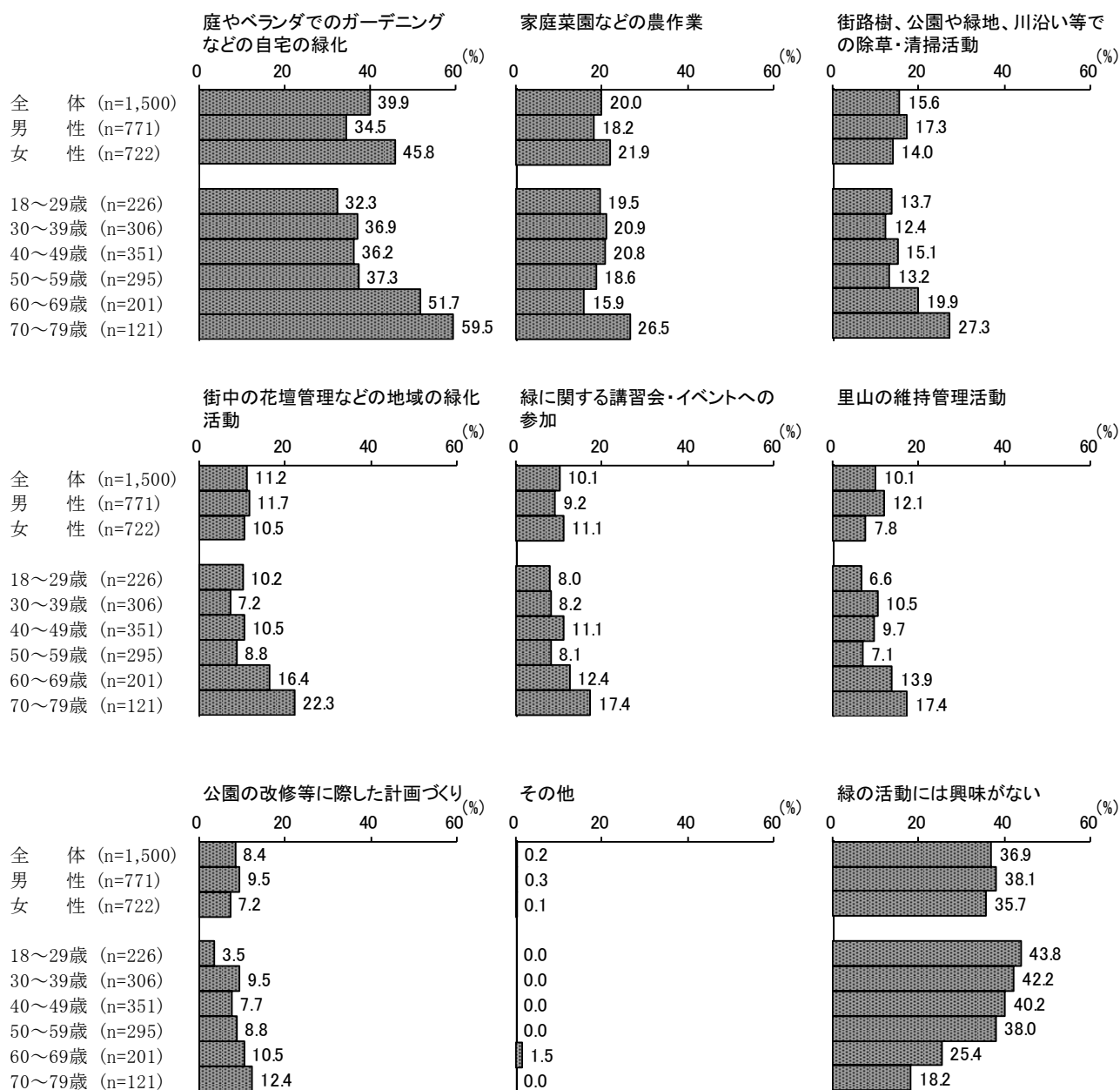
【図表 54】 今後取り組んでみたい川崎市の緑に関する活動（複数回答）



性別に見ると、「庭やベランダでのガーデニングなどの自宅の緑化」では女性の方が11.3ポイント高くなっているが、他の項目については性別による大きな違いは見られない。

年齢別に見ると、「家庭菜園などの農作業」、「その他」以外の項目で概ね年齢が高くなるほど多く、70～79歳が最も多くなっている。一方で、「緑の活動には興味がない」は年齢が低いほど多い。

【図表 55】 今後取り組んでみたい川崎市の緑に関する活動（複数回答）
（性別・年齢別）

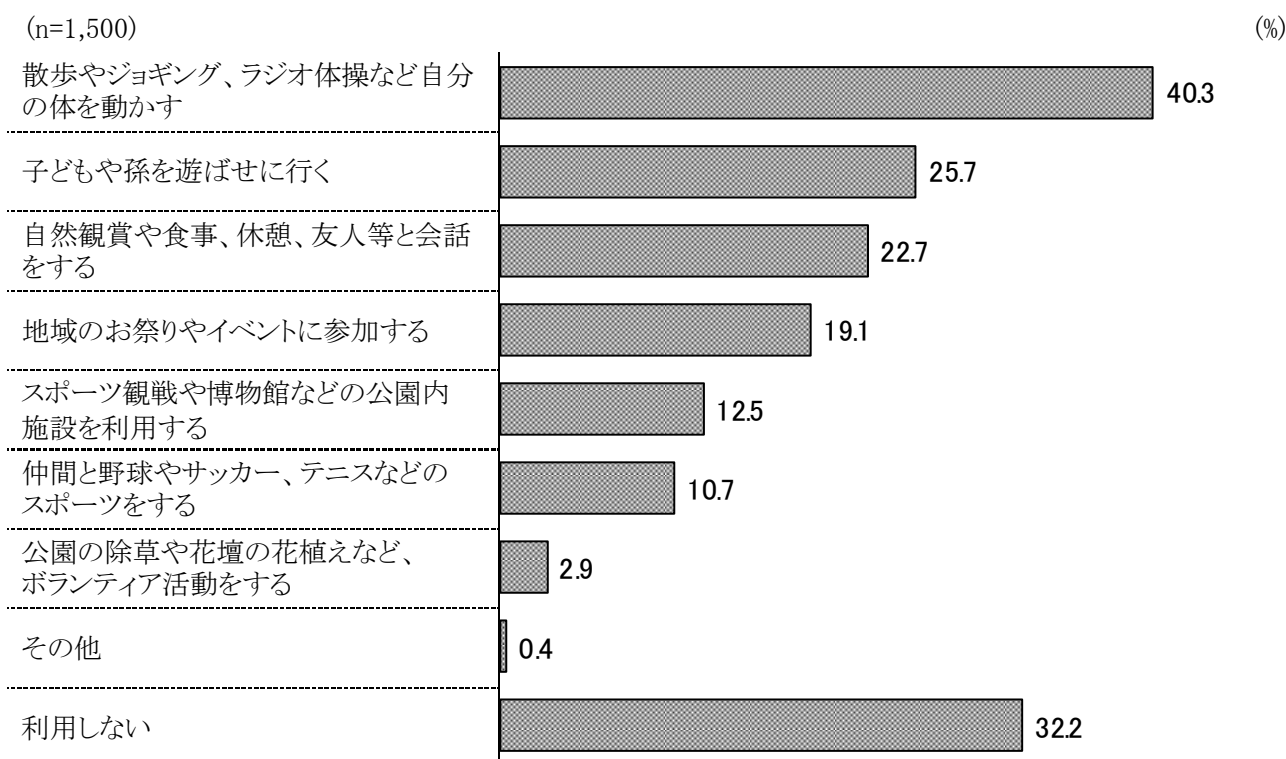


(5) 公園緑地の利用目的

Q18. 川崎市にはさまざまな公園や緑地（以下、「公園緑地」といいます）がありますが、あなたは公園緑地を次のどのような目的で利用したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

「散歩やジョギング、ラジオ体操など自分の体を動かす」が40.3%と最も多く、次いで「子どもや孫を遊ばせに行く」(25.7%)、「自然観賞や食事、休憩、友人等と会話をする」(22.7%)、「地域のお祭りやイベントに参加する」(19.1%)と続いている。一方で、「利用しない」は32.2%であった。

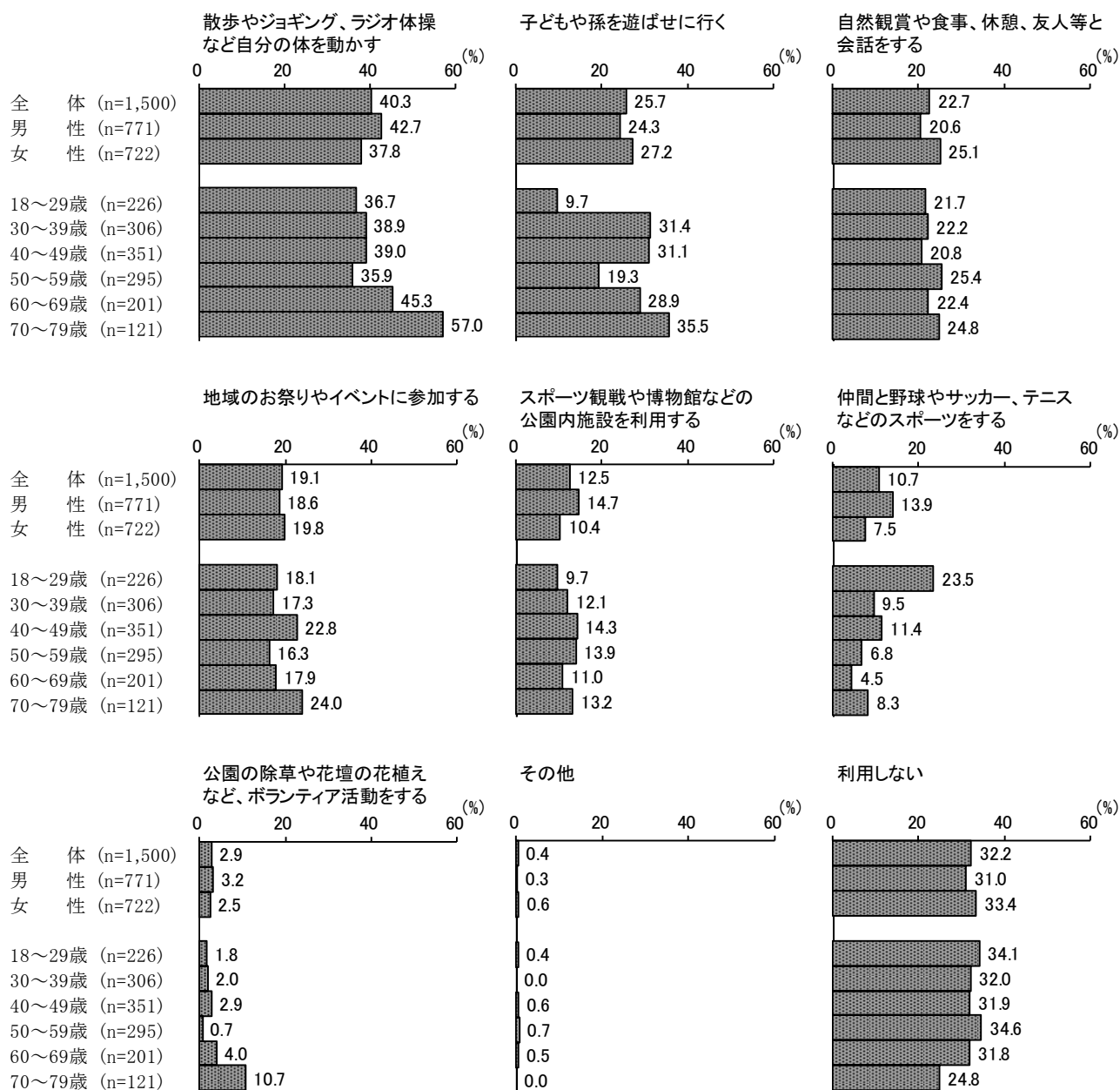
【図表 56】公園緑地の利用目的（複数回答）



性別に見ると、「仲間と野球やサッカー、テニスなどのスポーツをする」では男性の方が6.4ポイント高くなっているが、他の項目については性別による大きな違いは見られない。

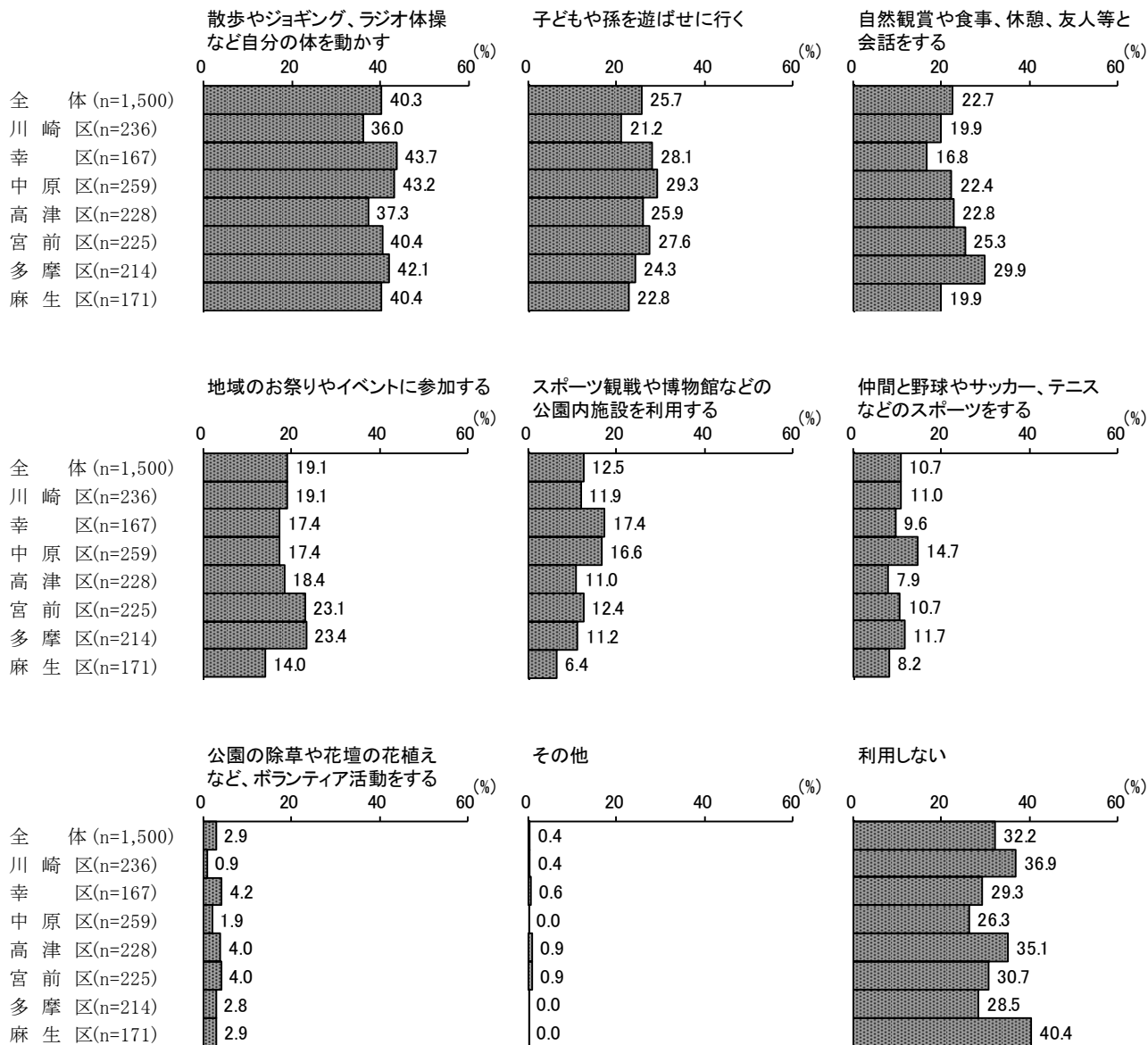
年齢別に見ると、「散歩やジョギング、ラジオ体操など自分の体を動かす」は70～79歳が57.0%と最も多く、概ね年齢が高くなるほど多くなっている。「子どもや孫を遊ばせに行く」も70～79歳が最も多いが、子育て世代である30歳代～40歳代でも3割を超えて多くなっている。「仲間と野球やサッカー、テニスなどのスポーツをする」は18～29歳が最も多く、概ね年齢が高くなるほど少なくなっている。「利用しない」は60歳代以下では年齢による違いがほとんど見られないが、70～79歳では24.8%と他の年齢層と比べて少ない。

【図表 57】公園緑地の利用目的（複数回答）
（性別・年齢別）



居住区別に見ると、「散歩やジョギング、ラジオ体操など自分の体を動かす」と「子どもや孫を遊ばせに行く」は川崎区で最も少なく、「自然観賞や食事、休憩、友人等と会話をする」は多摩区で最も多くなっている。「利用しない」は中原区で最も少なく、麻生区で最も多い。

【図表 58】公園緑地の利用目的（複数回答）
（居住区別）

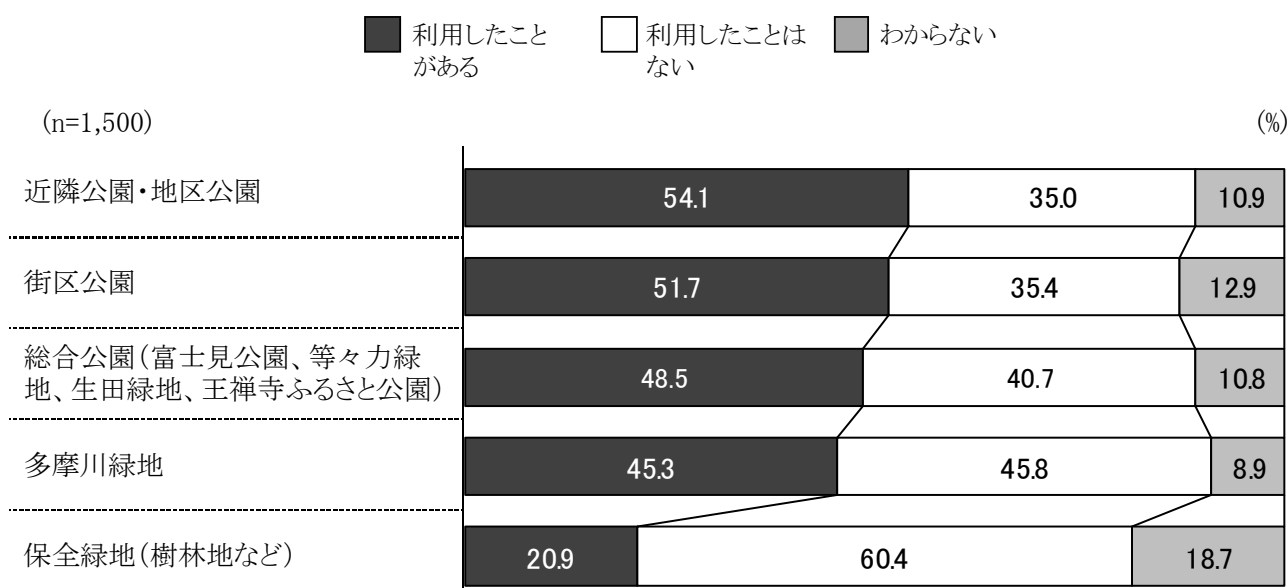


(6) 公園緑地の利用経験

Q19. 川崎市には以下の公園緑地があります。あなたは、それぞれの公園緑地を利用したことがありますか。

「利用したことがある」は「近隣公園・地区公園」と「街区公園」では5割を超えているが、「総合公園（富士見公園、等々力緑地、生田緑地、王禅寺ふるさと公園）」と「多摩川緑地」では4割台、「保全緑地（樹林地など）」（20.9%）は2割程度となっている。

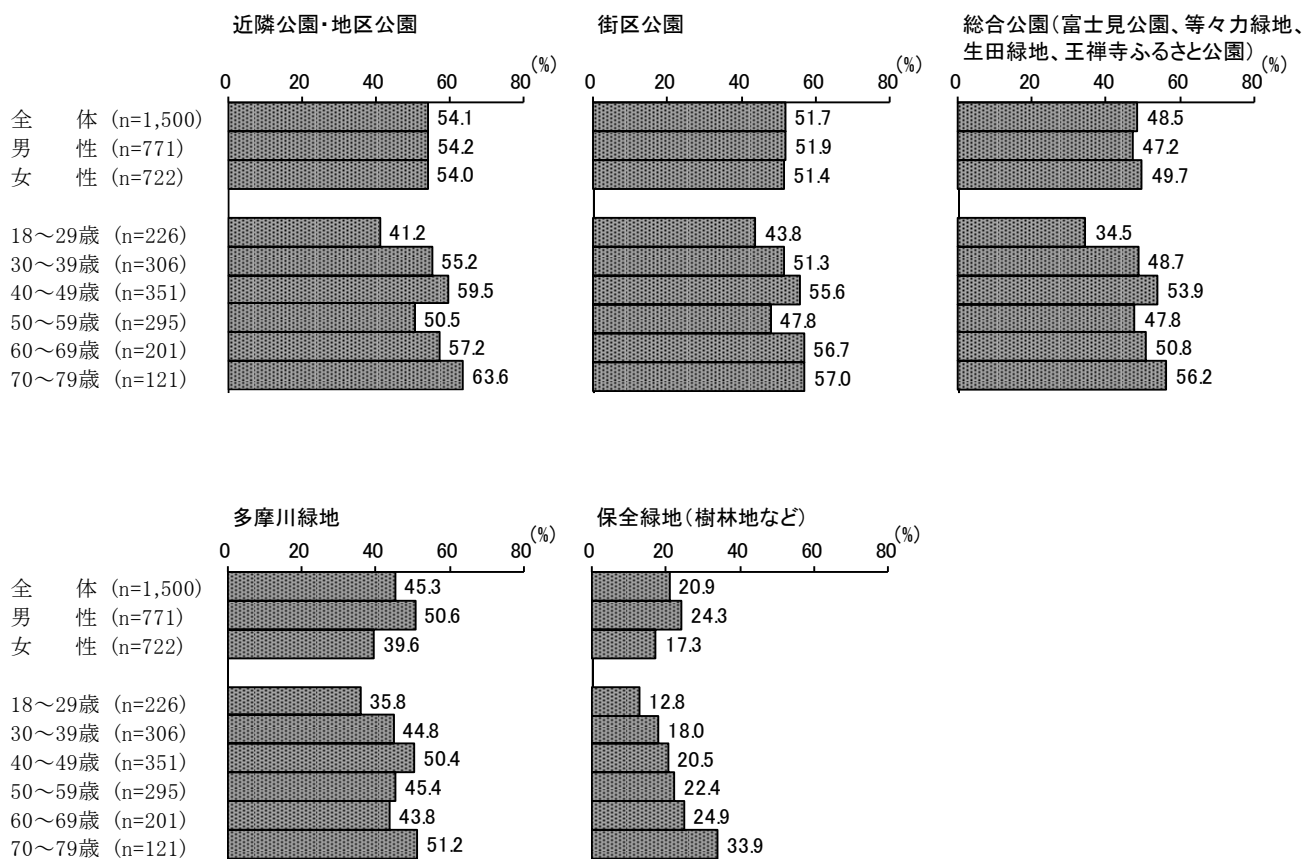
【図表 59】公園緑地の利用経験



「利用したことがある」と回答した人について性別に見ると、「多摩川緑地」では11.0ポイント、「保全緑地（樹林地など）」では7.0ポイント男性の方が高いが、他の項目については性別による大きな違いは見られない。

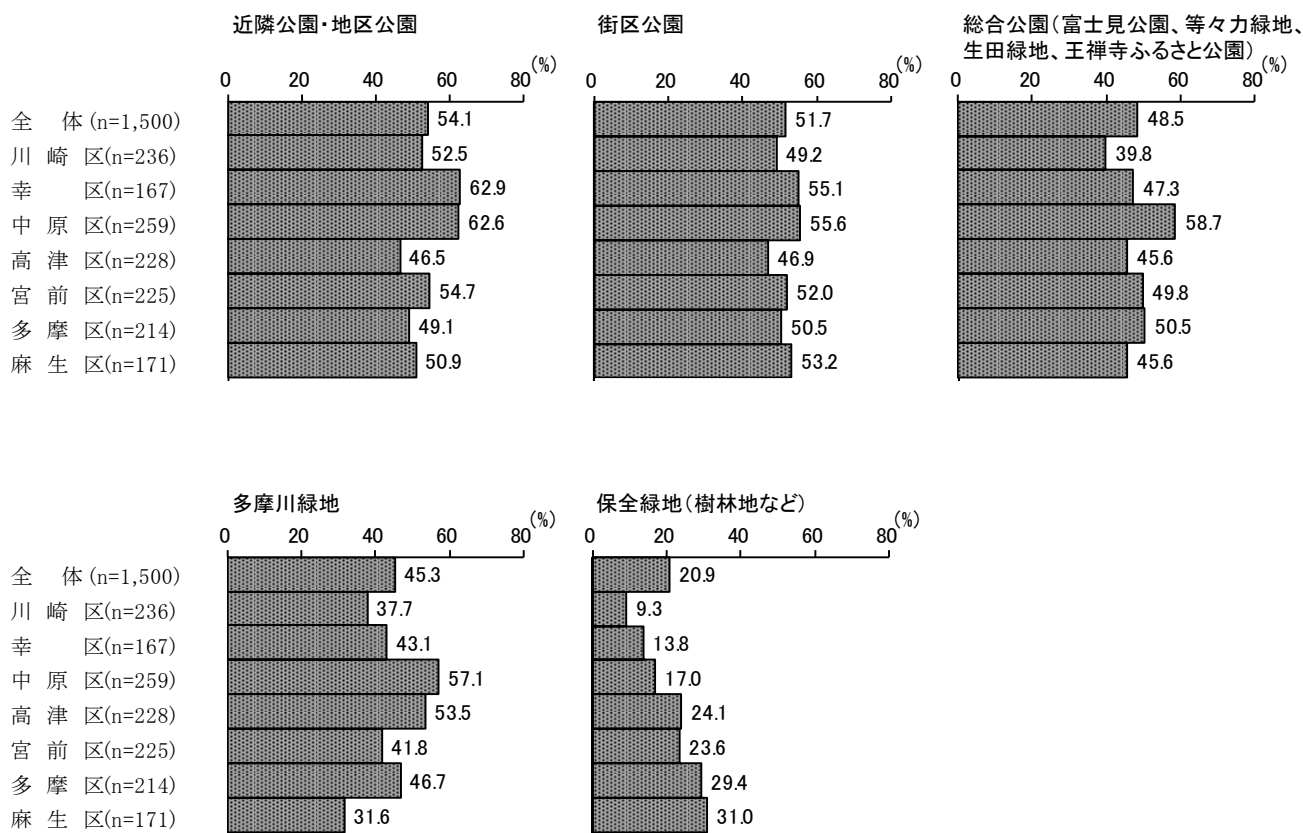
年齢別に見ると、「保全緑地（樹林地など）」以外の項目では40歳代と70歳代で特に多くなっている。

【図表 60】公園緑地の利用経験（「利用したことがある」回答者）
（性別・年齢別）



「利用したことがある」と回答した人について居住区別に見ると、「利用したことがある」と回答した人は、「近隣公園・地区公園」では幸区と中原区で6割を超えて多い。総合公園（富士見公園、等々力緑地、生田緑地、王禅寺ふるさと公園）では中原区で最も多く、川崎区で最も少ない。「多摩川緑地」は中原区で最も多く、麻生区で最も少ない。「保全緑地（樹林地など）」は麻生区で最も多く、川崎区で最も少ない。

【図表 61】公園緑地の利用経験（「利用したことがある」回答者）
（居住区別）

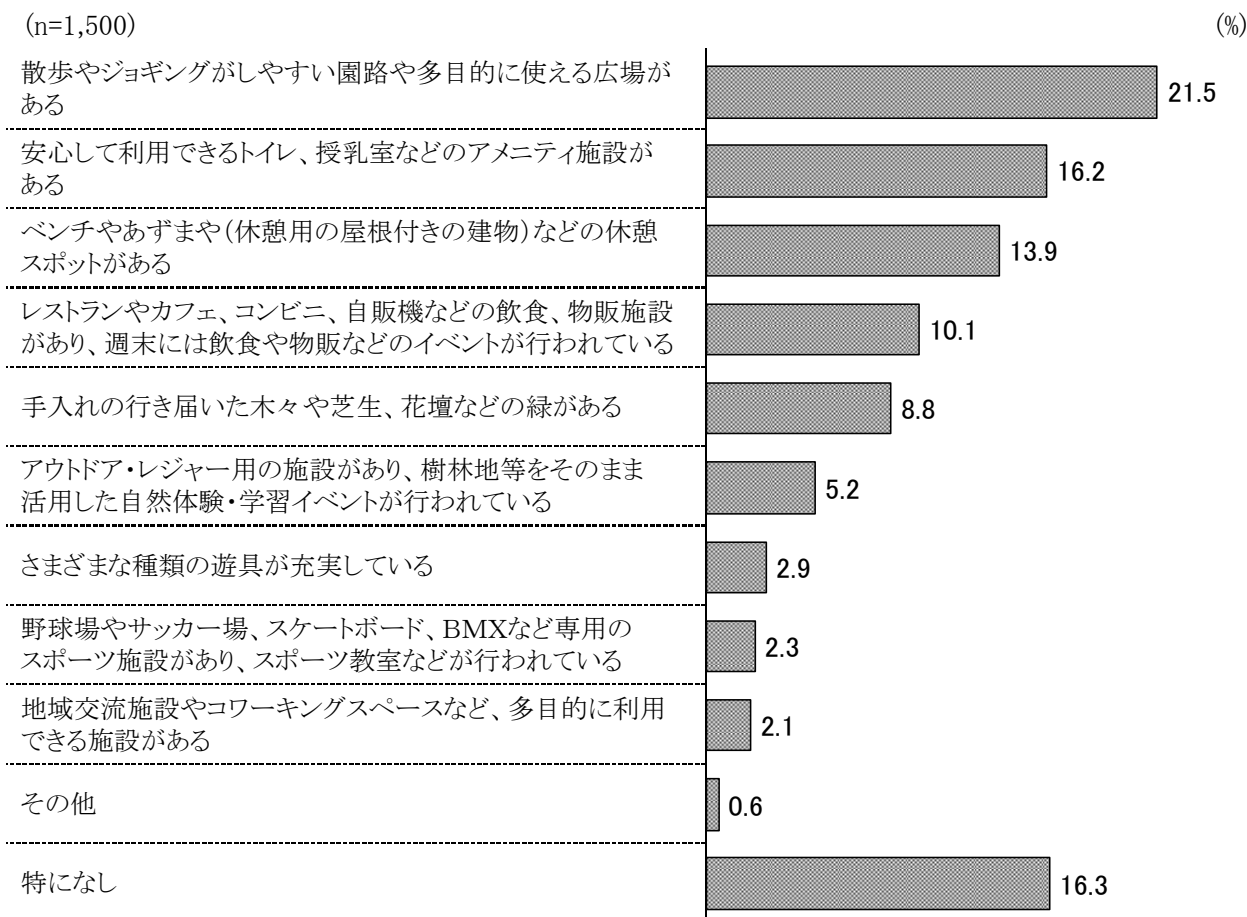


(7) 公園緑地に求めるもの（充実してほしいもの）

Q20. あなたが、公園緑地に求めるもの（充実してほしいもの）を次の項目の中から1つだけ選んでください。

「散歩やジョギングがしやすい園路や多目的に使える広場がある」が21.5%と最も多く、次いで「安心して利用できるトイレ、授乳室などのアメニティ施設がある」(16.2%)、「ベンチやあずまや(休憩用の屋根付きの建物)などの休憩スポットがある」(13.9%)と続いている。一方で、「特になし」は16.3%であった。

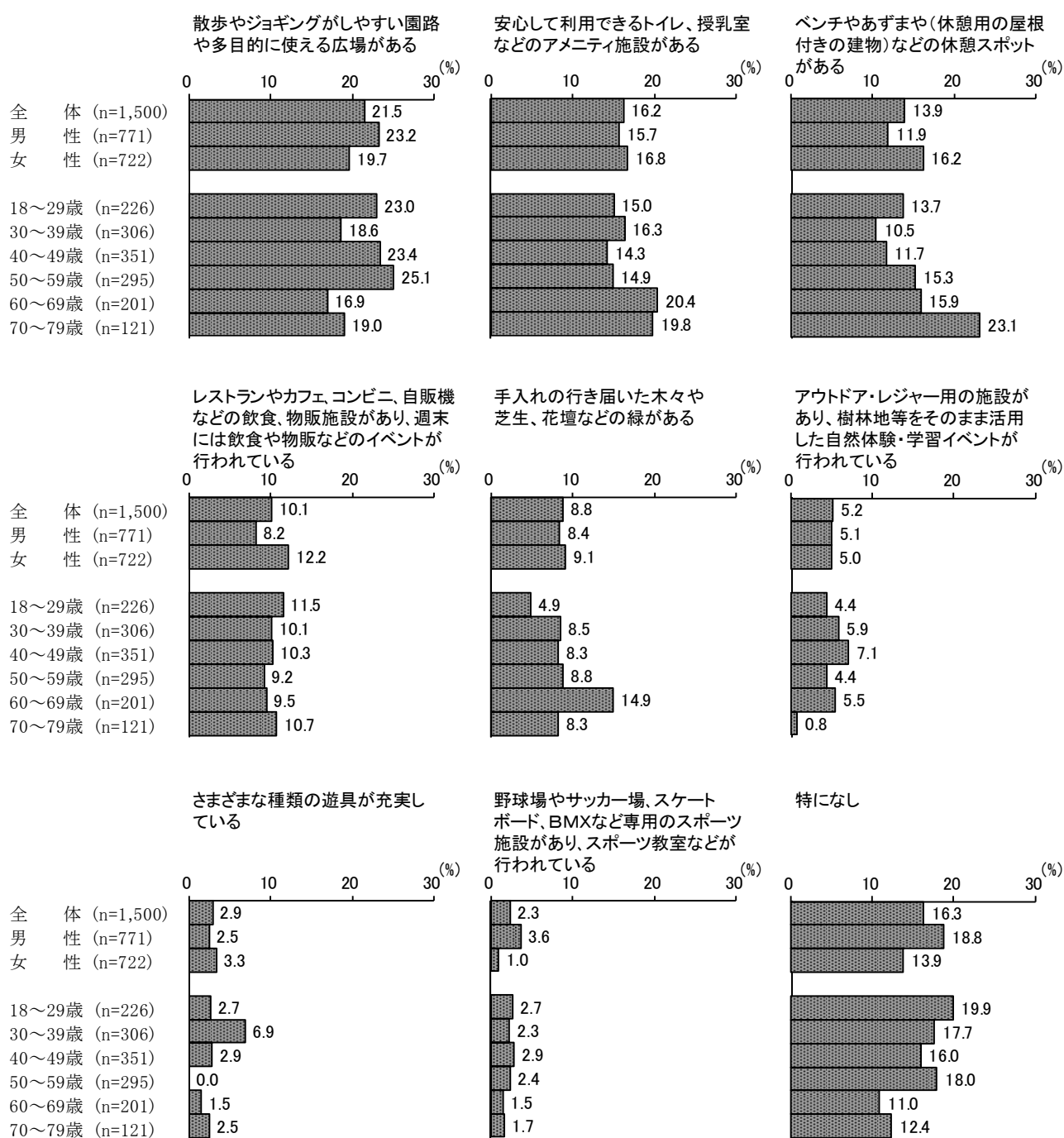
【図表 62】公園緑地に求めるもの（充実してほしいもの）



性別に見ると、「ベンチやあずまや（休憩用の屋根付きの建物）などの休憩スポットがある」と「レストランやカフェ、コンビニ、自販機などの飲食、物販施設があり、週末には飲食や物販などのイベントが行われている」では女性の方が多く、「散歩やジョギングがしやすい園路や多目的に使える広場がある」と「野球場やサッカー場、スケートボード、BMXなど専用のスポーツ施設があり、スポーツ教室などが行われている」では男性の方が多い。また、「特になし」も男性の方が多い。

年齢別に見ると、「安心して利用できるトイレ、授乳室などのアメニティ施設がある」と「ベンチやあずまや（休憩用の屋根付きの建物）などの休憩スポットがある」は概ね年齢が高くなるほど多くなっている。また、「特になし」は概ね年齢が低いほど多い。

【図表 63】公園緑地に求めるもの（充実してほしいもの）《上位9項目》（性別・年齢別）



Q18の公園緑地の利用目的別に見ると、「散歩やジョギングがしやすい園路や多目的に使える広場がある」は「散歩やジョギング、ラジオ体操など自分の体を動かす」ことを目的としている人で多く、「安心して利用できるトイレ、授乳室などのアメニティ施設がある」は「子どもや孫を遊ばせに行く」や「地域のお祭りやイベントに参加する」人で多い。

「ベンチやあずまや(休憩用の屋根付きの建物)などの休憩スポットがある」は「公園の除草や花壇の花植えなど、ボランティア活動をする」ことを目的としている人が多い。

「レストランやカフェ、コンビニ、自販機などの飲食、物販施設があり、週末には飲食や物販などのイベントが行われている」では「地域のお祭りやイベントに参加する」や「自然鑑賞や食事、休憩、友人等と会話をする」人で多い。

「さまざまな種類の遊具が充実している」は「子どもや孫を遊ばせに行く」で多く、「野球場やサッカー場、スケートボード、BMXなど専用のスポーツ施設があり、スポーツ教室などが行われている」は「仲間と野球やサッカー、テニスなどのスポーツをする」、「スポーツ観戦や博物館などの公園内施設を利用する」人で多くなっている。

【図表 64】公園緑地に求めるもの(充実してほしいもの)《上位9項目》
(公園緑地の利用目的別)

